

ナレッジ教訓シート										
ジェンダー4		教育・職業訓練			教育・職業訓練施設への 女性のアクセス向上にかかる取組					
適用スキーム	技プロ	開調	無償	有償	適用ステージ	形成	計画	実施	完了	供与後
	○		○			○	○	○		
適用対象サブセクター					指定なし					
教 訓										
種類		事業マネジメント上の教訓（分野横断的）								
	○	セクター・分野別の特性における教訓								
	○	国別・地域別の特性における教訓（内陸国、島嶼国等の地理的特性を含む）								
キーワード	アクセス向上、トイレの設置、安全の確保、女子教育への認識、女子寮、 教員宿舎、中退防止、共学化、女性の就学・就労、家族・コミュニティの啓発、 交通手段、訓練環境の整備									
適用条件					要旨／問題の背景					
教育・職業訓練施設の建設を伴う案件の形成や計画を行う場合、あるいは、施設の建設と組み合わせたプロジェクトを実施する場合					就学状況にジェンダー格差がある場合、経済的・物理的要因に加え、不平等なジェンダー規範が影響していることが多い。女性の教育・職業訓練へのアクセスの向上のためには、就学を阻害している要因を分析の上、学校や教育施設整備に付随して、女子教育を促進するようなインフラ整備（女子寮、トイレなど）が必要である。加えて、対象コミュニティにおいて女子教育を阻害する他の要因（例：女子教育の重要性への理解の欠如等）がある場合は、それらを合わせて取り除く取組も必要である。 （参考資料：JICA「JICA 事業におけるジェンダー主流化のための手引き【教育】」（2023年1月））					
リスク(留意事項)					対応策(アプローチ)					
A. 学校建設や教育施設整備において、対象地域の保護者やコミュニティによる女子教育の重要性に対する理解が低い場合には、インフラ施設を整備するだけでは就学者数の向上につながらないリスクがある。					<b>【学校建設や教育施設整備の計画、女性のアクセス向上を成果の一つに据えた技術協力における教訓】</b>  1. 社会・文化的要因（家族の教育に係る価値観）、経済的要因（家庭の生計状態）など様々な理由により女性の教育へのアクセスが阻害されている場合、学校建設や女子教育を促進するようなインフラ施設を整備するだけでは、女性の就学者数の改善につながらないことがある。対象国・地域特有のジェンダー規範・慣習や、女性の就学を妨げている要因を丁寧に分析したうえで、支援策（無償資金協力の場合はソフトコンポーネント）を組み					

<p>B. 女性に対する研修や職業訓練等の機会を提供する技術協力プロジェクトにおいて、支援対象となる地域で女性が研修や職業訓練に参加することへの障害（例：交通機関、家族の理解等）がある場合、あるいはそれらを取り除くための取組が不十分である場合、女性の研修や職業訓練へのアクセスが阻害されるリスクがある。</p>	<p>込むとともに、適切な目標値を設定する必要がある。適切な目標値の検討に際しては、同国・地域を対象とした JICA 既往案件または他ドナー案件の情報を参照することが推奨される。（対応しているリスク（以下同様）：A、B）（レファレンスプロジェクト：G10、G108、G222、T245、2024 年度テーマ別評価 事例分析）</p> <p>例：パキスタンの「女子前期中等教育強化計画」案件では、安全な教育施設や衛生的なトイレが整備された。しかし、対象コミュニティにおける女子教育の重要性に対する理解の欠如や経済的な要因によって就学できない生徒も存在しており、案件ではそれらに対応する取組を行わなかったため、新設された女子前期中等学校への入学者数は計画時に想定されていた目標値の 61%程度にとどまった。（G10）</p> <p>例：マラウイの「第三次中等学校改善計画」案件では、協力準備調査において、「一般的に女性教員の存在が女子の就学促進に有効とされる」こと、並びに「良質で安全な教員住宅の存在が女性教員の定着とモチベーションの向上に有効であること」に言及があった。本案件では、学校整備と合わせて女子寮、トイレ、教員宿舎などの複合的な整備が行われたことで、女性教員の高い比率（全国平均 24%に対して、対象校は 51%）と定着がもたらされた。女性教員は、女子生徒のロールモデルかつ母親グループのメンバーとして女子生徒への手厚い支援を行っており、女性教員が定着することで、女子生徒の就業及び早婚、妊娠を主な理由とした女子生徒の中退率の低減に寄与した。（G108（第三次中等学校改善計画 準備調査報告書を含む））</p> <p>例：パキスタンの「パンジャブ州技術短期大学強化計画」案件は、国内で初めて技術教育・職業訓練機関（TVET）の男女共学化が行われ、女子学生が学習しやすい環境となるよう、建築学科棟に女子トイレや女子談話室・ロッカーを整備し、関連技プロ（技術教育改善プロジェクト）を通じて進められた建築学科の共学化を後押しした事例である。公的 TVET へのアクセスにおけるジェンダー障壁を取り除いた成功事例である一方で、親が娘を共学校へ入学させることへの抵抗、女子の通学に適した安全な公共交通機関が欠如していることなどにより、建築学科への女子の入学者数は減少傾向にあり、定員を満たしていない（なお、成績は男子学生よりも女子学生の方が良い結果であった）。また、中途退学した女子学生も生じており、主な理由は個</p>
---	---

	<p>人的・家族の問題とみられた。女子学生の就労、学業の継続、卒業後の就職支援については、男子学生とは異なる対応が求められることから、各種取組やサポートの仕組みを一層強化する必要がある。（G222、T245（終了時評価報告書を含む））</p> <p>例：パキスタンの「アパレル産業技能向上・マーケット多様化プロジェクト」案件（事後評価未実施<sup>1</sup>）では、対象地域における社会・ジェンダー調査（①コミュニティ・企業、②女性教員・訓練生を対象としたもの）を実施し、女性の就学・就労にあたっての社会・慣習的制約や通学・訓練環境の課題等を分析した（例えば、女性の就学・就労の最大の制約要因が「交通手段」であることが分かり、次いで「距離」や「家族の反対」が挙げられた）。同調査結果等を踏まえ、次のような取組が実施された：訓練校の環境整備（通学バス整備、託児所の設置、女性看護師の配置、反セクハラ委員会の設置等）、コミュニティにおける生徒募集キャンペーン、産学連携によるコミュニティ・女性の家族への就職に対する啓発活動、女性訓練生の家族の企業訪問ツアーなど）。</p> <p>なお、本テーマ別評価の事例分析では、対象訓練機関の卒業生で就職又は起業した女性（サクセス・ケース）や、その家族・コミュニティ、就職した女性の場合は就職先の企業等へのヒアリングを実施し、サクセス・ケースの就学・就労/起業に至るプロセスで影響した要素を整理している。サクセス・ケースの最大の成功要因は「家族からの支援があったこと」（例：就学・就労/起業への理解、経済的な支援、交通手段の確保）であり、女性とその家族が安心できる訓練環境・職場環境の整備の重要性、そのことを周知するコミュニティ向けの啓もう活動、ロールモデルとしてのサクセス・ケース事例の把握とコミュニティにおける啓もう活動での活用等を教訓として挙げている。（2024年度テーマ別評価 事例分析（アパレル産業技能向上・マーケット多様化プロジェクト ファイナルレポート））</p>
期待される効果	
教育・職業訓練施設整備の際には、当該地域の就学におけるジェンダー格差の状況とその要因を分析した上で、女子教育を促進するような複合的なインフラ整備に加え、女子の就学を阻害している他の要因にアプローチする取組を事業内で行うことで、女子の就学状況の向上につながる。教員向	

<sup>1</sup> 本案件の事後評価は未実施であるが、「全世界 2024 年度テーマ別評価「ジェンダー案件の事業効果及び教訓」に関する調査」において事例分析を実施したため、対象案件のファイナルレポート及び事例分析にかかる報告書を参照している。

けの施設の整備も実施した場合には、教員の定着やモチベーションの向上、ひいては教育の質の向上につながりうると共に、女性教員が女子生徒を支援する文化的規範の下では、女子生徒へのサポート体制の強化にもつながりうる。

参 考：本教訓の元となったレファレンスプロジェクト

No.	国	案件名	キーワード
G10	パキスタン	シンド州南部農村部女子前期中等教育強化計画、シンド州北部農村部女子前期中等教育強化計画	アクセス向上、トイレの設置、安全の確保、女子教育への認識
G108	マラウイ	中等学校改善計画、第二次中等学校改善計画、第三次中等学校改善計画	女子寮、トイレの設置、教員宿舎、安全の確保、中退防止
G222	パキスタン	パンジャブ州技術短期大学強化計画	トイレの設置、共学化、女子教育への認識、安全の確保
T245	パキスタン	技術教育改善プロジェクト	トイレの設置、共学化、女子教育への認識、安全の確保
事例分析	パキスタン	アパレル産業技能向上・マーケット多様化プロジェクト	アクセス向上、女性の就学・就労、家族・コミュニティの啓発、交通手段、訓練環境の整備、安全の確保

註【 T: 技術協力, P: 開発計画調査型技術協力, G: 無償資金協力, L: 有償資金協力 】